

平成28年度

長野救命医療専門学校 学校関係者評価 自己点検報告書

教職員自己点検結果

1 教育目標

医療等に携わる者として、「確かな専門性」と「豊かな人間性」を兼ね備えた学生を育成する。

そのため次の視点から専門教育と人間教育の統合を図る。

- ①自己研鑽に励む優れた教職員が、充実した施設・設備を駆使して、学生の期待に応えるための専門教育を展開する。
- ②学生が自ら学び 共に磨き合うことを大切にしながら、基礎基本の確実な定着と実践的態度の向上を図り、医療等のスペシャリストを養成する。
- ③傷病者の治療・施術や指導、心のケアを担当する医療・福祉スタッフの一員として、優しい心で真心を尽くすことが出来る学生を養成する。

2 建学の精神(校歌三心)

- 1 自主(医術) ~救命医療に関する知恵を修め技術を磨く
- 2 愛(意思) ~救命医療の業務に誇りを持ち、慈愛の心を耕す。
- 3 至誠(医道) ~救命医療の道における誠実な在り方を究める

3 学校運営の重点

1、個性の開発

- (1)基礎基本となる学力の確かな定着を図る。
- (2)主体的な学習態度を育成する。
- (3)学生相互の信頼関係を深化し、切磋琢磨し合う集団を形成する。

2、特色ある教育課程の編成

- (1)教育内容を精選し、その関連性と発展性を明確にする。
- (2)救命医療に係る実践的な教育内容の充実を図る。
- (3)「確かな専門性」とともに、「豊かな人間性」を育む展開を組織する。

3、生活指導の徹底

- (1)学生を共感的に理解し、自立するよう支援する。
- (2)基本的な生活習慣の定着と健康安全に関する指導を徹底する。
- (3)定期教育相談、並びに必要に応じた個人面談等を実施する。

4、開かれた学校

- (1)地域社会との連携を図り、諸活動に積極的に参加する。
- (2)学校評価、並びに学校関係者の協力を得て、学校運営の向上を期する。
- (3)保護者懇談会、保護者説明会等を実施する。

5 評価項目の達成及び取り組み項目

※該当する数字に○印、[]内にご意見がございましたら記入してください(改善支援シートと重複しても構いません)

(1) 教育理念・目標

(数値は左が26年度、右が27年度)

評 価 項 目	4(適切)・3(ほぼ適切) 2(やや不適切)・1(不適切)	
	26年度	27年度
教育目標・育成人材像は定められているか	3.56	4.00
教育目標・建学の精神・育成人材像等が学生・保護者等に周知されているか	2.67	3.82
教育目標・建学の精神・育成人材像等は、各学科に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	2.89	3.91

①課題

- ・地域に開かれた学校づくり
- ・地域交流

②今後の改善方策

- ・学生が積極的に地域と関わる体制を作る。
- ・定期新聞の発行、懇談会・授業参観・公開授業の実施、

③特記事項

特になし

(2) 学校運営

(数値は左が26年度、右が27年度)

評 価 項 目	4(適切)・3(ほぼ適切) 2(やや不適切)・1(不適切)	
	26年度	27年度
学校運営方針は策定されているか	3.44	3.73
運営方針に沿った事業計画が策定されているか	3.22	3.64
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3.00	2.91
人事・給与に関する規程等は整備されているか	2.89	3.09
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	3.11	3.27
コンプライアンス体制が整備されているか	3.22	3.27
教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	3.22	3.91
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3.11	3.64

①課題

- ・教員会は全員が必ず参加すべきだ。
- ・退職者の後任を早期決定し、3月中には引継ぎが確実にできるようにしてほしい。
- ・個々が就業規則に則り業務に当たってほしい。

②今後の改善方策

- ・接骨院の業務日程を調整する。
- ・効率よく引継ぎできるよう考慮する。
- ・一人ひとりが組織の一員であることを自覚するよう教育していく。

③特記事項

特になし

(3) 教育目標

(数値は左が26年度、右が27年度)

評価項目	4(適切)・3(ほぼ適切) 2(やや不適切)・1(不適切)	
教育目標等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	3.11	3.73
教育目標・人材育成像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3.56	3.82
学科のカリキュラムは体系的に編成されているか	3.44	3.91
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3.11	3.45
各関連分野の実習施設等の関係施設や各団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直しが行われているか	3.00	3.45
実践的な職業教育(実技・実習・演習・インターンシップ等が体系的に位置づけられているか	3.22	3.18
授業評価の実施・評価体制はあるか	3.33	3.18
職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	2.89	3.73
成績評価・単位認定・進級判定・卒業判定の基準は明確になっているか	3.22	3.09
資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3.22	3.55
人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	2.78	2.91
関連分野における各団体との連携において優れた教員(本務・兼務を含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	2.78	2.82
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われているか	2.56	2.64
職員の能力開発のための研修等が行われているか	2.11	2.73

①課題

- ・外部での研修がしっかりできるような環境整備してほしい。
- ・臨床実習の内容及び評価の見直し
- ・各業界、団体との連携が取れていない
- ・成績評価をもっと厳しくすべきだ(進級・卒業)
- ・実務経験者の補充

②今後の改善方策

- ・年間の計画であらかじめ日程を調整し、予算化する。
- ・毎年度末に各学科で来年度の指針を検討する。
- ・定期的な交流とともに双方の協力体系を構築する
- ・成績不良者については試験前にしっかり指導できるよう各学科で対応したうえで、状況によっては保護者のご協力を仰ぐ必要がある。
- ・計画的に配備できるよう検討したい。

③特記事項

学力不振者の学力向上のため、定期試験と再試験の間で補習授業を実施

(4) 学修成果

(数値は左が26年度、右が27年度)

評価項目	4(適切)・3(ほぼ適切) 2(やや不適切)・1(不適切)	
就職率の向上が図られているか	2.44	3.27
資格取得率の向上が図られているか	2.56	3.45
退学率の低減が図られているか	2.67	3.00
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3.00	3.20
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	2.56	3.09

①課題

- ・救急救命士学科の卒業生の就職率の向上
- ・国家試験合格率の向上

②今後の改善方策

- ・新しい就職先の開拓、行政への呼びかけ、説明会の実施
- ・学力不審者への学習指導の強化、学習習慣の定着

③特記事項

(5) 学生支援

(数値は左が26年度、右が27年度)

評価項目	4(適切)・3(ほぼ適切) 2(やや不適切)・1(不適切)	
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	2.44	3.27
学生相談に関する体制は整備されているか	2.89	3.27
学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	2.78	3.45
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	2.67	3.36
課外活動に対する支援体制は整備されているか	3.11	3.27
学生の生活環境への支援は行われているか	2.78	3.18
保護者と適切に連携しているか	3.11	3.36
卒業生への支援体制はあるか	2.89	3.27
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3.00	3.18
高校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか	2.89	3.27

①課題

- ・社会人としてのマナーを学べる講座が必要
- ・学生相談への対応をもっと強化する
- ・就職の担当窓口を固定化したほうが良いのでは

②今後の改善方策

- ・学生向けの各種セミナーへの参加を促す。
- ・教員間で情報を共有できるよう管理体制を強化する。
- ・学生の状況を最も知っている3年担任が望ましいが、学科として組織的に対応できるシステムを検討

③特記事項

特になし

(6) 教育環境 (数値は左が26年度、右が27年度)

評価項目	4(適切)・3(ほぼ適切) 2(やや不適切)・1(不適切)	
施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3.11	3.18
学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3.22	3.09
地球環境に配慮した指導体制(クールビズ・ウォームビズ)が整備されているか	3.22	3.45
防災に対する体制は整備されているか	3.67	3.64

①課題

②今後の改善方策

③特記事項

特になし

(7) 学生募集 (数値は左が26年度、右が27年度)

評価項目	4(適切)・3(ほぼ適切) 2(やや不適切)・1(不適切)	
学生募集活動は適正に行われているか	3.11	3.45
学生募集活動において教育成果は正確に伝えられているか	3.44	3.64
学納金は妥当なものか	3.33	3.55

①課題

- ・ガイダンスへの参加を増やす
- ・国家試験の合格率、就職率を向上させ、募集時のPR

②今後の改善方策

- ・県内については原則すべて参加している。県外については予算を含め検討する。
- ・合格率、就職率を上げるための指導力の向上を図る。

③特記事項

特になし

(8) 財務 (数値は左が26年度、右が27年度)

評価項目	4(適切)・3(ほぼ適切) 2(やや不適切)・1(不適切)	
中長期的に学校の財政基盤は安定しているといえるか	2.33	3.09
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3.00	3.18
財務について会計監査が適正になされているか	3.44	3.36
財務情報公開の体制整備はできているか	3.22	3.55

①課題

- ・財務状況がわからない

②今後の改善方策

- ・学校法人会計の実務経験のある会計士に依頼

③特記事項

特になし

(9) 法令等の遵守 (数値は左が26年度、右が27年度)

評価項目	4(適切)・3(ほぼ適切) 2(やや不適切)・1(不適切)	
法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3.22	3.45
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3.78	3.55
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	2.33	3.55
自己評価結果を公開しているか	2.22	3.73

①課題

- ・個人情報に関する取扱いの厳格化

②今後の改善方策

- ・教職員の勉強会の開催する

③特記事項

特になし

(10) 社会貢献・地域貢献 (数値は左が26年度、右が27年度)

評価項目	4(適切)・3(ほぼ適切) 2(やや不適切)・1(不適切)	
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3.22	3.82
学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	2.89	3.55
地域に対する公開講座等を積極的に実施しているか	2.89	3.73

①課題

- ・柔道整復師学科で地域との関わりが少ない。

②今後の改善方策

- ・部活動や大会などのトレーナー活動に学生も参加できるか等研究する。

③特記事項

特になし